

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [山梨県立笛吹高等学校] 担当教諭名 [木下 花子] (1・2年 25名)
 相手国・地域 [リトアニア]
 海外学校名 [Kursenai Laurynas Ivinskis Gymnasium] 担当教諭名 [Valdon Verseckien]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	アートマイル国際協働学習プロジェクト	20
	部活動	アートマイル国際協働学習プロジェクト	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	“The fusion of nature and human” (自然と人の融合)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Let's protect our planet's land and its ecosystems for future generations by planting trees, supporting sustainable agriculture, contributing to wildlife conservation, and practicing recycling and reuse. There are many things that each of us can do. Small actions can make a big difference to future generations.



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 相手校との交流を通して、異文化理解を深めると共に自国についても考えることができた。 SDG15「陸の豊かさを守ろう」について、自分事として捉え、課題解決に向けて取り組もうとする意識が芽生えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動時間を確保するために、細かくスケジュールを立てる必要があった。 より活発な協働学習をするために、生徒にもフォーラムに直接投稿させればよかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> インターネットやフォーラムから相手国について知ることにつれて、身近な国に感じられるようになった。 リトアニアの同世代の若者と、思いや考えを交換することで、国や文化は違っていても、1つの課題に共に取り組む仲間だという意識が芽生えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手校の先生や生徒と国を超えて活動することの楽しみを生徒同様に、活動を進めるにつれて感じるできるようになった。また、文化が異なる人と一つの課題について協働学習することで、人との繋がりや、様々な考え方を受け入れることの大切さを改めて考える機会となった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 リトアニアについて調べる SDG15について現状や課題について考える 	<ul style="list-style-type: none"> リトアニアについて、初めて知った生徒が多かった。 SDG15についてグループ毎にテーマを決めて調査した。 	英語
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> SDG15について、課題解決方法について意見を出しあいパワーポイントにまとめる オンラインにて、互いの活動を発表し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 相手校と実際にオンラインで活動することで、自分の英語が伝わったことへの達成感と共に、相手校の生徒の発表から多くの刺激を受けた。 	英語
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ここまでの学習を振り返り、どのような未来を創りたいのか話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作に向けて、生徒たちで、ここまでの学習を振り返りながら、どのような未来を創りたいのか真剣に考えていた。 	英語
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作 	<ul style="list-style-type: none"> 相手校のメッセージと自分達のメッセージを元に、美術部の生徒が絵のアイデアを出し合い、制作した。 リトアニアの生徒へ手紙書いた。 	部活動
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの振り返りをレポートにまとめた。生徒は、協働学習から様々なことを学ぶことができた。 文化が異なる同世代と一つの作品を作り上げた達成感と喜びを感じることができた。リトアニアの生徒からのサンキューレターに感動していた。 	英語 部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	フォーラムや実際にオンラインで交流することで、自分達とは異なる、相手校の生徒の文化や価値観に実際に触れあい、リトアニアについて強く興味を持てたと感じたので。
主体的に考え行動する力	3	プロジェクト開始当時よりも、自分の考えを積極的に出せるようになってきた生徒が増えた。SDG15について、自分事として捉え、今何ができるのか考え始めたので。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	フォーラムや実際にオンラインで交流することで、相手校の生徒の価値観や文化の違いに気づき、それらを受け入れて、柔軟に考えていくことの大切さに気付くことが多くあったので。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	オンライン会議を通して、異国の同世代の学生との会話を楽しむ力を育むことができた。自身の英語が通じることの喜びを感じると共に、相手のことをもっと知りたいと感じる生徒も出てきたので。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	何度も話し合い、望む未来の姿のイメージをメッセージに込めることができた。両校のメッセージを取り入れたデザイン案を練り、壁画に思いを表すことができたので。